

全国漁業信用基金協会 神奈川支所



① 神奈川県概要

神奈川県は関東平野の南西部に位置し、面積は全国43番目の約2,400平方キロメートルと小ぶりですが、気候は横浜の平均気温でだいたい十七度前後と比較的住みやすく経済産業圏としても首都圏の一角をなしています。

人口は全国第2位で920万人を越えており人口密度も3番目です。県内には国際都市横浜や工業都市川崎を始め、軍港のある横須賀、さらに大仏のある古都鎌倉、江の島や海水浴場のある湘南海岸、県土の中央には母なる川「相模川」、北条氏が治めた城下町の小田原、そして七種類の温泉が湧きでる箱根や1,300メートル級の山々が連なる丹沢山地があります。

一方、文化スポーツ分野では、伝統工芸として鎌倉彫りや箱根寄木細工、小田原漆器。祭礼では浜降祭や貴船祭などがありますが、特にスポーツでは、神奈川県内に拠点を持つチームも沢山あります。例えば、サッカーでは、川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、横浜FC、湘南ベルマーレなど、また、野球では、横浜DeNAベイスターズ、神奈川フューチャードリームス。バスケットボールでは、横浜ビー・コルセアーズ、川崎ブレイベンダーズ。ラグビーでは、三菱重工相模原ダイナボアーズ。アメリカンフットボールでは、富士通フロンティアーズ。アイスホッケーでは横浜GRITSな

どなど。スポーツ好きにはたまらない地域でもあります。

この様にさまざまな人々が行き交う中で、産業や文化と自然が上手く調和しているのが神奈川です。



横浜ベイブリッジ



湘南海岸・江の島

② 神奈川県の水産業

神奈川県は、東京湾と相模湾の2つの海に面し、海岸線の総延長は約430キロメートルと長く、マグロやカツオなどの遠洋漁業で有名な三崎漁港を始めとして25の漁港があり、各浜々で合計20の漁業協同組合が活動し、沖を流れる黒潮の

影響を受けて多種多様な魚介類が水揚げされています。

東京湾では、まき網や小型底びき網、あなご筒、たこつぼ、刺し網などの漁業が盛んでタチウオやカレイ、サヨリ、そしてタコなど約200種類もの水

産物が水揚げされます。特にアナゴ、シャコなどは「江戸前の魚」として広く親しまれています。また、昔から海苔の養殖が行われており、香りよし、味よし、色よし、の三拍子揃った海苔は生産量が少ないので、貴重な特級品として根強い人気があります。さらに三浦半島沿岸では天然で良質のヒジキが収穫されています。

相模湾は深淵で起伏に富んだ複雑な海底構造であるとともに、特に黒潮の影響を受けることから、1,300種類以上の魚類の生息が確認されています。漁業は定置網や刺し網、さらにシラス船曳網などが盛んで、ブリ、サバ、アジ、カマス、マダイ、ヒラメなど多種多様な水産物が水揚げされています。また、相模湾で漁獲されるシラスは



横浜・柴漁港 小型底びき漁船

「湘南シラス」として、さらに湘南海岸のハマグリも「湘南ハマグリ」として高い評価を得ています。

神奈川の水産業は、都会、観光地、そして豊かな自然と共存しながら躍動しています。



三崎漁港のマグロ水揚げ



相模湾のヒラメなど

3 神奈川支所の概要 (令和2年度末)

- 住所：横浜市金沢区富岡東2丁目1-22
- 電話：045-778-5070
- 担当理事：鈴木 清
- 担当監事：鵜飼 俊行
- 会員総数：313名
- 出資総額：893,000千円
- 保証残高：994,337千円
- 職員：3名

4 神奈川支所の今後の取り組み

神奈川支所の主な保証取引は、かつての遠洋・沖合漁業法人から沿岸の個人漁業者に転換しました。廃業や高齢化による漁業従事者の減少により保証推進が難しい状況にありますが、無保証人事業や保証料補助事業に加えリース事

業が推進されるなど金融面での投資環境が整備される中で、意欲のある漁業者の皆様に対して、各種金融施策の適用を含め、きめ細やかなサービスの提供を心がけています。